



いよいよ2020年、新たな年が始まりましたね。毎年一年の始まりには自然と気の引き締まる思いになる私です。今年はオリンピックイヤー。何度応募しても観戦チケットは未だ一枚も当たりませんがパブリックビューイングなどなど今から楽しみでいっぱいです！

そんな2020年、我が家事情をお話すると、今年はいよいよ長女が小学生になります。色々生活が激変するんだらうな〜と頭では分かっているのですが、何となくぼんやりしているうちに（いや、毎日必死に生きているうちに?!）こんな季節になってしまいました。

先日保育園で就学前面談と言うのがあったので長女に「今日先生とお話するけど何か聞きたい事や不安な事はある？」と聞いた所、

「う〜ん、ええ〜と…しんごうのあるところをわたるときってさあ、みぎとひだりはみるでしょ？まえとうしろもみたほうがいいの？」という答えが返ってきました。

何とも素朴で純粋で具体的な悩みにほっこりしてしまう私。実は“ひとりであるいてみたい”という事があり、時々保育園からの帰り道、距離をあけて一人で家まで歩いてみるなんて言うことをしているのですが、横断歩道に来ると、左右を何度もキョロキョロして安全確認し、中々わたる事ができないのです。

「いつどこから車が来るかわからないから後ろや前も見れたらバッチリだけど、ずーっと見てると渡れないから一緒に練習していこうね。先生にも聞いてみるね」と話しました。

学童問題、送迎問題、準備物問題…などなど“問題”という言葉を目につけるととても大変な事態に襲われている気がしてしまいますが、新生活を迎えるに辺り、子どもの成長や気持ちの変化に寄り添い、親も子も前向きな気持ちで4月を迎えられるようにしていければ良いなと思う出来事でした。

毎日の育児、お疲れ様です！

